



情報技術課 課長代理 小林 様

講話内容

- ・ 地域企業における DX の取組
- ・ 企業の紹介（会社概要、事業内容、製品開発内容、研究内容等）
- ・ 押出成形機について等

学生のワークシートから抜粋

【わかった企業情報等】

- ・ 1930 年に設立された。生産される製品は主に自動車、建材、IT 機器などに使われている。製品の作り方について映像を見て分かった。
- ・ 企業の半分は、20 年経つとつぶれている中、三葉製作所は今年で 93 年目を迎える長寿企業。
- ・ ゴムプラスチック押出成形機・電線被覆製造装置、各種計測制御装置等の開発、設計、製造、販売をしている会社。
- ・ 押出機は争う企業が少ない。
- ・ 研究開発した超臨界技術というもので、ケーブルを従来のものよりもノイズに強くした。
- ・ 企業向けの会社なのであまり一般には知られていないが、有名自動車メーカーや電子機器メーカーを支えている。
- ・ インターネットにつなげて I o T 化している（データの収集分析、S F A、P L M、E R P の導入をして効率化を目指している）
- ・ ゴムは需要がいろいろな所にあるので安定的な売り上げがある会社だと思った。

【気づいたこと・学んだこと等】

- ・ 三葉製作所さんのことは全く知りませんでした。有名なお客さんにたくさんいたので、けっこうすごい会社なんだと思いました。
- ・ 三葉製作所についてや、DX について話を聞けたから良かった。
- ・ 縁の下の力持ち的な企業のことをもっと知っていけるようにしていきたい。

- ・製品を作る機械がすごくて、良いと思った。
- ・大学卒の方が仕事に就くのが難しいということを知りました。
- ・DX人材の必要性について、よくわかった。
- ・DXに取り組んでいる企業は増加しているが、DXを推進していく人材が不足している現状。自分たちがDXについてよく学び、人材を増やしていくことが大事だと思った。
- ・DXの取組をしている企業は増えているが、地方の中小企業では少ない。この原因は、DX人材がIT企業などに取られてしまい、地方の中小企業に回ってこないことであり、地方の中小企業がDX人材への特典などを考える工夫をすべきだと思った。
- ・今回話を聞いたことで、新たなすごい会社を見つけることができ、何を作っているかなどを知ることができたのでよかったです。
- ・ガソリンの用途が減っても、その分電気が必要になるため、ケーブルやチューブの需要が下がることはない。
- ・SFAというサービスは機械が個別の情報を管理していてすごいと思った。
- ・デジタル技術の導入だけでは成果はあげられない。デジタル技術はあくまで目標を達成するための手段。
- ・地方ではDXを導入し推奨している会社が少ないと聞いたので、このような機会にDXの知識を少しでもつけたいと思った。
- ・研究開発を行い、より良い部品に仕上げようとしている姿勢はいいなと思った。
- ・コンピュータを使って分析と効率化をされていてすごいと思いました。
- ・DXに必要な人材になれるようがんばろうと思った。